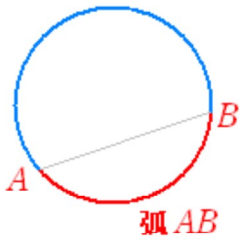


== 円周角の定理 =

【弧(こ)・弦(げん)とは】

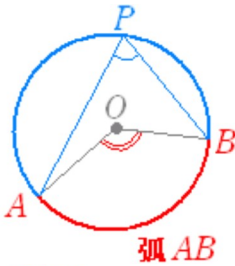
円周の一部を「弧」という。
例 右図の赤で示した部分を弧 AB などという。(これに対して灰色で示した線分は弦 AB という。)



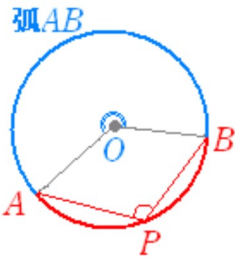
※ 1つの弦により円周全体は2つの弧に分けられる。右図において青で示した部分も弧になるが、弧 AB というときは、大きい方(青の方)か小さい方(赤の方)かが分かるようにしなければならない。[大きい方を「優弧」、小さい方を「劣弧」と呼んで区別することもある。]

【中心角と円周角】

右図のように弧 AB があるときに、弧 AB を除いた円周にある点を P とするとき、 $\angle APB$ を弧 AB に対する円周角という。



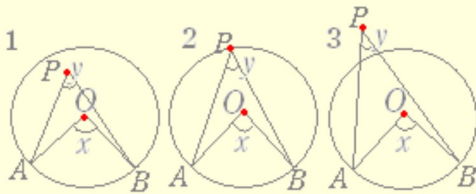
弧 AB として、右図赤で示した部分を考えてとき、中心角 $\angle AOB$ と円周角 $\angle APB$ は右図のように対応する。



弧 AB として、右図青で示した部分を考えてときは、中心角 $\angle AOB$ と円周角 $\angle APB$ は右図のように対応する。

【例題1】

右図において中心角 x と円周角 y とが正しく対応しているものはどれか。



(答案)

2 …(答)

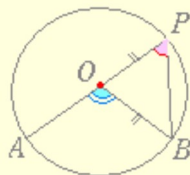
(1と3は点 P が円周上にないから $\angle APB$ が円周角になっていない。

【中心角と円周角の関係】

1つの弧に対する円周角は、その弧に対する中心角の半分に等しい。

(解説)

(ア)右図のように AOP が直線になるとき、



$OP=OB=(半径)$ だから
 $\triangle OPB$ は二等辺三角形で

$\angle OPB = \angle OBP \dots(1)$

三角形の外角の性質から

$\angle AOB = \angle OPB + \angle OBP \dots(2)$

(1)(2)より $\angle AOB = 2\angle OPB$

ゆえに、 $\angle APB = \angle OPB = \frac{1}{2} \angle AOB$

となるから、円周角は中心角の半分に等しい。

(イ)右のような図になるとき、

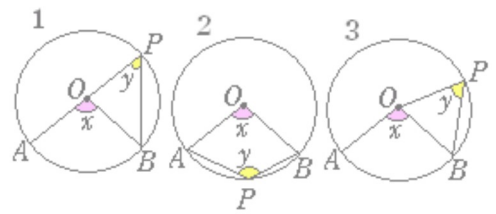
$\triangle AOP$ について

$OA=OP=(半径)$ だから



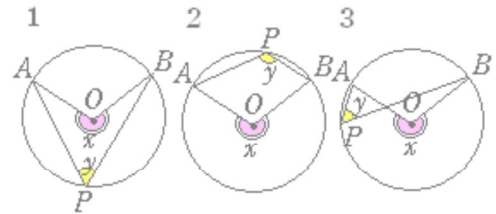
【問題1】

(1) 右図において中心角 x と円周角 y とが正しく対応しているものはどれか。番号で答えなさい。



1

(2) 右図において中心角 x と円周角 y とが正しく対応しているものはどれか。番号で答えなさい。



2

[採点する](#)

[やり直す](#)

[解説](#)

(1)は1, (2)は2

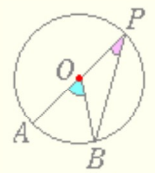
[閉じる](#)

【例題2】

(1) 右図において $\angle AOB = 52^\circ$ のとき、 $\angle APB$ を求めなさい。

(答案)

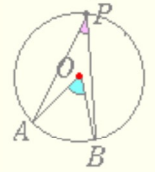
$\angle APB = \frac{1}{2} \angle AOB = 26^\circ \dots(答)$



(2) 右図において $\angle AOB = 48^\circ$ のとき、 $\angle APB$ を求めなさい。

(答案)

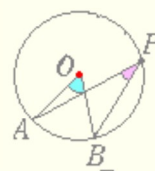
$\angle APB = \frac{1}{2} \angle AOB = 24^\circ \dots(答)$



(3) 右図において $\angle AOB = 58^\circ$ のとき、 $\angle APB$ を求めなさい。

(答案)

$\angle APB = \frac{1}{2} \angle AOB = 29^\circ \dots(答)$



(4) 右図において $\angle AOB = 240^\circ$ のと



$\triangle AOP$ は二等辺三角形で
 $\angle APO = \angle PAO \dots(1)$
 三角形の外角の性質から
 $\angle AOQ = \angle APO + \angle OAP \dots(2)$



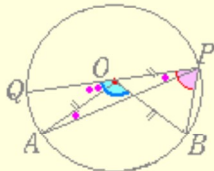
(1)(2)より、 $\angle AOQ = 2\angle APQ$
 ゆえに、 $\angle APQ = \frac{1}{2}\angle AOQ \dots(3)$

同様に、 $\triangle BOP$ について
 $\angle BPQ = \frac{1}{2}\angle BOQ \dots(4)$

(3)(4)より、 $\angle APB = \angle APQ + \angle BPQ$
 $= \frac{1}{2}\angle AOQ + \frac{1}{2}\angle BOQ = \frac{1}{2}\angle AOB$
 となるから、円周角は中心角の半分に等しい。

(ウ) 右のような図になるとき、
 $\angle APB$

$$\begin{aligned} &= \angle QPB - \angle QPA \\ &= \frac{1}{2}\angle QOB - \frac{1}{2}\angle QOA \\ &= \frac{1}{2}(\angle QOB - \angle QOA) \\ &= \frac{1}{2}\angle AOB \end{aligned}$$

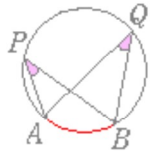


となるから、円周角は中心角の半分に等しい。

※ 円周角が 180° 以上となる場合も、円周角は中心角の半分になる。



【円周角の定理】
 同じ弧に対する円周角は等しい。
 右図において
 $\angle APB = \angle AQB$
 が成り立つ。



(解説)

円周角は中心角の半分に等しいから、

$$\begin{aligned} \angle APB &= \frac{1}{2}\angle AOB \\ \angle AQB &= \frac{1}{2}\angle AOB \end{aligned}$$

ゆえに、 $\angle APB = \angle AQB$



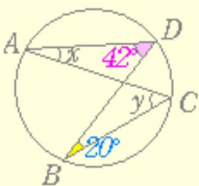
【例題3】

右図において $\angle x$, $\angle y$ の大きさを求めなさい。

(答案)

$\angle DAC$, $\angle DBC$ はいずれも弧 DC の円周角だから等しい。 $\angle x = 20^\circ \dots$ (答)

$\angle ADB$, $\angle ACB$ はいずれも弧 AB の円周角だから等しい。 $\angle y = 42^\circ \dots$ (答)

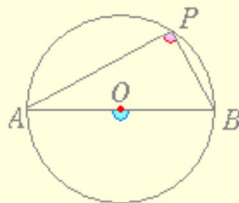


【直径の円周角】
 直径の上に立つ円周角は 90° に等しい。
 円周角が 90° のとき、弦は直径になる。

(解説)

円周角は中心角の半分に等しいので、中心角が 180° のとき、円周角は 90° になる。

逆に、円周角が 90° ならば中心角が 180° 、すなわち弦が直径になるということも言える。



き、 $\angle APB$ を求めなさい。

(答案)

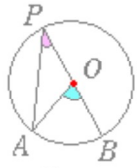
$$\angle APB = \frac{1}{2}\angle AOB = 120^\circ \dots$$
(答)



【問題2】

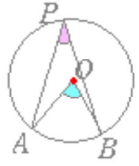
(1) 右図において $\angle AOB = 50^\circ$ のとき、 $\angle APB$ を求めなさい。

$$\angle APB = 25^\circ$$



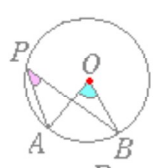
(2) 右図において $\angle AOB = 54^\circ$ のとき、 $\angle APB$ を求めなさい。

$$\angle APB = 27^\circ$$



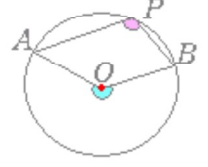
(3) 右図において $\angle AOB = 62^\circ$ のとき、 $\angle APB$ を求めなさい。

$$\angle APB = 31^\circ$$



(4) 右図において $\angle AOB = 210^\circ$ (水色の部分) のとき、 $\angle APB$ を求めなさい。

$$\angle APB = 105^\circ$$



[採点する](#) [やり直す](#) [解説](#)

(1) 25 (2) 27 (3) 31 (4) 105

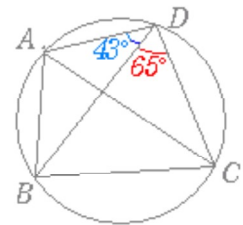
[閉じる](#)

【問題3】

右図において $\angle BAC$, $\angle BCA$ の大きさを求めなさい。

$$\angle BAC = 65^\circ$$

$$\angle BCA = 43^\circ$$



[採点する](#) [やり直す](#) [解説](#)

同一の弦 BC に対する円周角は等しいから、
 $\angle BAC = \angle BDC = 65^\circ$

同一の弦 AB に対する円周角は等しいから、
 $\angle BCA = \angle BDA = 43^\circ$

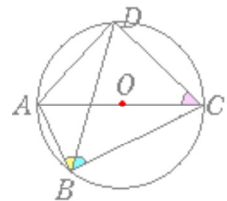
[閉じる](#)

【問題4】

右図において O は円の中心とする。
 $\angle DBC = 55^\circ$ のとき、

$$\angle ABD = 35^\circ$$

$$\angle ACD = 35^\circ$$



[採点する](#) [やり直す](#) [解説](#)

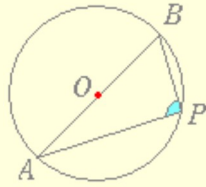
$\angle ABC$ は直径の上に立つ円周角だから 90°

[例題4]

右図において O が円の中心であるとき、 $\angle APB$ の大きさを求めなさい。

(答案)

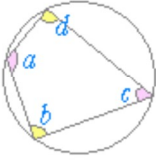
$\angle APB=90^\circ \dots$ (答)



【円に内接する四角形】

円に内接する四角形の向かい合う1組の角の和は 180° に等しい。

※ 右図のように向かい合う角 $\angle a$ と $\angle c$ 、 $\angle b$ と $\angle d$ を各々向かい合う1組の角という。



この定理は右図において

$\angle a + \angle c = 180^\circ$

$\angle b + \angle d = 180^\circ$

となることを示している。

(解説)

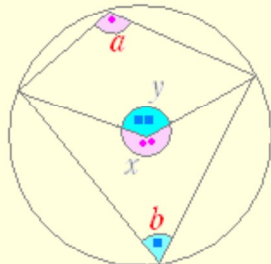
円周角は中心角の半分に等しいから

$a = \frac{x}{2}, b = \frac{y}{2} \dots(1)$

$x+y$ は円を一周するから

$x+y=360^\circ \dots(2)$

(1)(2)より $a+b = \frac{x+y}{2} = 180^\circ$



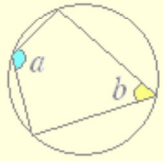
[例題5]

左図において $\angle a=102^\circ$ のとき $\angle b$ の大きさを求めなさい。

(答案)

$\angle a + \angle b = 180^\circ$ だから

$\angle b = 78^\circ \dots$ (答)



【円周角のいろいろな問題1】

[例題6]

右図において O は円の中心で $\angle x=150^\circ$ のとき $\angle y$ を求めなさい。

(答案)

右図のように $\angle z$ を考えると

$\angle z = 360^\circ - 150^\circ = 210^\circ$

$\angle y = \frac{z}{2} = 105^\circ \dots$ (答)



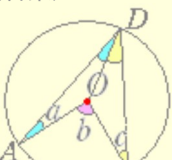
【円周角のいろいろな問題2】

[例題7]

右図において O は円の中心で $\angle a=15^\circ$ 、 $\angle c=20^\circ$ のとき $\angle b$ を求めなさい。

(答案)

左図において $\triangle AOD$ は二等辺三角形だから、 $\angle ADO=15^\circ$
 $\triangle COD$ は二等辺三角形だから、 $\angle CDO=20^\circ$



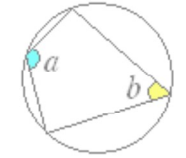
$\angle ABD=90^\circ - 55^\circ = 35^\circ$
 同一の弦 AD に対する円周角は等しいから、
 $\angle ACD=\angle ABD=35^\circ$

閉じる

[問題5]

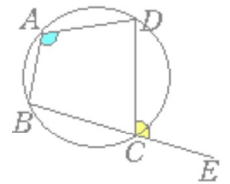
右図において $\angle b=63^\circ$ のとき $\angle a$ の大きさを求めなさい。

$\angle a = 117^\circ$



(2) 右図において $\angle BAD=110^\circ$ のとき、 $\angle DCE$ の大きさを求めなさい。

$\angle DCE = 110^\circ$



採点する やり直す 解説

$\angle a + \angle b = 180^\circ$ だから

$\angle a = 117^\circ$

$\angle BAD + \angle BCD = 180^\circ$

$\angle BCD + \angle DCE = 180^\circ$ だから

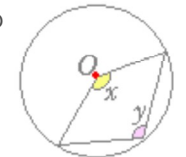
$\angle DCE = \angle BAD = 110^\circ$

閉じる

[問題6]

右図において $\angle y=100^\circ$ のとき、 $\angle x$ を求めなさい。

$\angle x = 160^\circ$



採点する やり直す 解説

右図のように $\angle z$ を考えると、 $\angle y$ の中心角が $\angle z$ だから

$\angle z = 200^\circ$

$\angle x = 360^\circ - 200^\circ = 160^\circ$

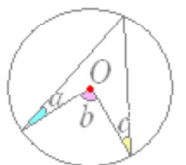
閉じる



[問題7]

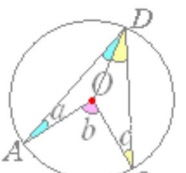
右図において $\angle a=10^\circ$ 、 $\angle b=80^\circ$ のとき $\angle c$ を求めなさい。

$\angle c = 30^\circ$



採点する やり直す 解説

右図において $\angle ADC = \frac{1}{2} \angle AOC = 40^\circ$
 $\triangle AOD$ は二等辺三角形だから、
 $\angle ADO = 10^\circ$





これらの和を求めると $\angle ADC=35^\circ$
 $\angle b=2 \times \angle ADC=70^\circ \dots$ (答)

【円周角のいろいろな問題3】

【例題8】

右図において $\angle ABD=51^\circ$,
 $\angle BDC=42^\circ$ のとき $\angle AED$ を求めな
 さい.

(答案)

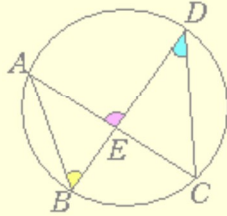
$\triangle CDE$ において

$$\angle ACD = \angle ABD = 51^\circ$$

$$\angle CDE = 42^\circ$$

三角形の外角の性質から、

$$\angle AED = \angle ECD + \angle CDE = 93^\circ \dots$$
(答)



【円周角のいろいろな問題4】

【例題9】

右図において O は円の中心で
 $\angle DAC=37^\circ$ のとき $\angle ABD$ を求
 めなさい.

(答案)

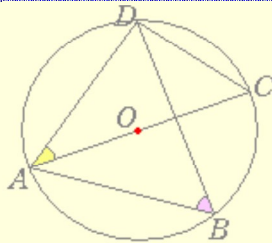
AC は直径だから

$$\angle ADC = 90^\circ$$

$$\angle ACD = 90^\circ - 37^\circ = 53^\circ$$

弦 AD に対する円周角は等しい
 から

$$\angle ABD = \angle ACD = 53^\circ \dots$$
(答)



差を考えると $\angle CDO=30^\circ$

$\triangle COD$ は二等辺三角形だから、

$$\angle c=30^\circ \dots$$
(答)

閉じる



【問題8】

右図において $\angle AED=100^\circ$,
 $\angle ABE=60^\circ$ のとき $\angle EDC$ を求めな
 さい.

$$\angle EDC = 40^\circ$$



採点する

やり直す

解説

$\triangle CDE$ において

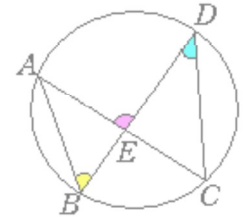
$$\angle ACD = \angle ABD = 60^\circ$$

三角形の外角の性質から、

$$\angle ECD + \angle CDE = \angle AED = 100^\circ$$

ゆえに、 $\angle CDE=40^\circ \dots$ (答)

閉じる



【問題9】

右図において O は円の中心で
 $\angle BDA=25^\circ$ のとき $\angle BCD$ を求め
 なさい.

$$\angle BCD = 115^\circ$$



採点する

やり直す

解説

AD は直径だから

$$\angle ABD = 90^\circ$$

$$\angle BAD = 90^\circ - 25^\circ = 65^\circ$$

円に内接する四角形の向かい合う1組の角の和は 180° だか
 ら

$$\angle BAD + \angle BCD = 180^\circ$$

$$\angle BCD = 115^\circ \dots$$
(答)

閉じる

